

■表2 特別会計歳入歳出決算の状況

(単位：百万円)

区 分	歳入 (A)	歳出 (B)	差引残額 (C=A-B)	繰越財源 (D)	実質収支 (C-D)
土地区画整理会計	10,588	10,566	22	0	22
団地造成会計	1,918	1,918	0	0	0
駐車場会計	339	339	0	0	0
母子寡婦福祉資金貸付会計	321	238	83	0	83
国民健康保険会計	141,719	143,212	△1,493	0	△1,493
老人医療会計	170,405	171,081	△676	0	△676
介護保険会計	61,648	61,648	0	0	0
基金会計	1,231	1,066	165	0	165
公共用地先行取得会計	765	2,010	△1,245	0	△1,245
砂防用地先行取得会計	646	643	3	0	3
交通災害共済会計	363	177	186	0	186
合 計	389,943	392,898	△2,955	0	△2,955
公債会計	355,565	355,565	0	0	0

■表3 基金の状況

地域の基盤整備の推進	913億1,993万円	教育・文化・スポーツの振興	31億390万円
土地開発	692億1,386万円	奨学	10億2,958万円
まちづくり推進	202億6,375万円	特別奨学	5億5,034万円
市営住宅整備	10億5,296万円	芸術文化振興	6億4,855万円
地下高速鉄道	7億8,936万円	スポーツ振興	8億7,543万円
社会福祉の充実	37億1,142万円	財政調整	849億6,041万円
災害遺児	3億117万円	財政調整	99億1,420万円
地域福祉振興	26億4,390万円	減債	750億4,621万円
介護給付費準備	7億6,635万円	その他	66億7,273万円
環境保全対策の推進	18億3,186万円	基本	35億5,398万円
環境保全推進	4億2,426万円	霊園	30億6,165万円
森林保全	10億299万円	札幌国際デザイン賞顕彰	2,352万円
リサイクル推進	4億461万円	国民健康保険支払準備	3,358万円
合計	1,916億26万円		

(決算剰余積立後の状況を示しています)

※&lt;基金&gt;特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金を運用するためのもの。

■表4 財産の状況

区 分	行政財産	普通財産	合 計
土地	36,372,685㎡	2,902,737㎡	39,275,422㎡
建物	5,266,468㎡	101,376㎡	5,367,845㎡
航空機	1機	—	1機
物 権	5,595㎡	—	5,595㎡
無体財産	1件	125件	126件
有価証券	—	49億835万円	49億835万円
出資による権利	—	53億6,642万円	53億6,642万円
物 品	—	4,153(点・台)	—
債 権	—	134億1,761万円	—

■表5 一時借入金残高(3月末現在)  
(単位：百万円)

一般会計	2,180
特別会計	461
企業会計	0
合 計	2,641

※&lt;一時借入金&gt;

年度の途中で、収入と支出の時期のずれから一時的な資金不足が見込まれる時に、その不足を補うために銀行などから借り入れる資金

## 特別会計

歳入は三千八百九十九億四千二百万円と前年度比2・1%の増。歳出は三千九百二十八億九千八百万円と前年度比2・7%の増となりました。

実質収支が赤字となったのは、国民健康保険・老人医療・公共用地先行取得の三会計です。国民健康保険会計では、保険料の減収や被保険者数の増加に伴う保険給付費の増など

により、昨年度に引き続き収支不足を生じました。このため、平成十四年度予算から十四億九千三百万円の繰上充用(翌年度の歳入を繰り上げて、その年度の歳入に充てること)を行いました。

また、一般会計から累積赤字の計画的な解消を図るための繰り入れを行いました。単年度収支の悪化により、累積赤字は八十八億三千七百万円と、昨年度より約三億円増加しました。